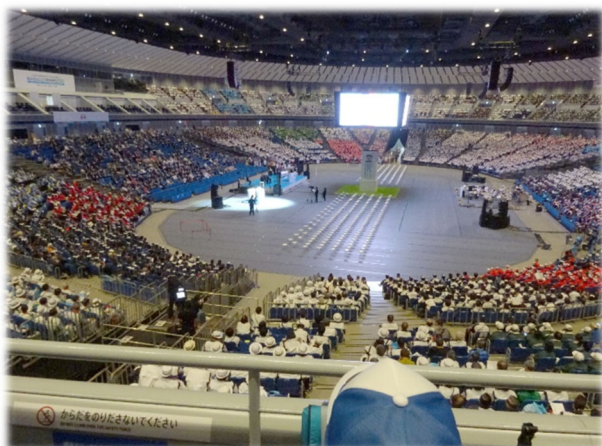


ねんりんピックかながわ 2022 結果報告

2022年11月12-14日、2年間コロナ中止後のねんりんピック（全国健康福祉祭）が神奈川県において開催され、さいたま市テニス競技で代表選手6名が参加いたしました。

神奈川県には本大会25の運動、文化種目を展開し観客含めて60万人の来訪者を見込んでいて、さいたま市からは役員含め約150名の選手団を派遣されています。

12日に、横浜アリーナで皇室をお迎えし開催地総出の工夫を凝らしたおもてなし総合開会式に、全国60歳以上人口4048万人を代表する選手、役員約1万人が参加し、コロナによる中止大会を吹き飛ばすかのような勢いある声援で感慨深く式典が盛り上がりました。



総合開会式



さいたま市選手団

テニス競技は11月13～14日まで横浜市三ツ沢テニスコートで、全国68チーム17ブロックに分かれた交流テニス大会。13日、4チーム予選リーグ（石川県、宮城県、鹿児島県）と対戦し、石川、宮城には60才男女のパワーと多彩な技、70歳男子の見事なコンビネーションで勝ち越しましたが、惜しくも強豪鹿児島にはスピード、パワーで押され、総合2-1のスコアで2位トーナメントへ進みました。さいたま市予選を勝ち抜いた精鋭の強さを十分に発揮できた結果でした。

14日、第2位グループ17チームのトーナメント戦で、初戦不戦勝を経て2回戦、いきなり強豪愛知県（2位グループ優勝）との試合で、速い、深い、巧みなボールコントロールに押され、対して勝負へのしぶとさを見せていた当軍団ですが、最後は全国のレベルの高さに力尽き、他市称賛の弁で帰路につきました。

そして、もう一つのねんりんピックの魅力は、交流です。多くの全国各地を代表する同年代のテニス愛好家が一堂に会する機会に遭遇することの喜びは何よりも魅力です。

選手全員が、知人、旧友、他人でもすぐ仲間となるこの交流の魅力、連帯感に100%はまり込み、帰路においてもこの余韻に浸っていると同時に、既に次の全国大会への挑戦意欲に闘志を燃やし始めていました。選手の皆様お疲れさまでした。



2位トーナメント挨拶



リーグ戦初戦挨拶



試合終了後の充実感

ねんりんピックかながわ 2022 代表選手			
男子 60 歳以上	潤田 雅之	(与野 TC)	
	琴野 実		
女子 60 歳以上	橋本 淳子	(愛球 127)	
	原田 加代子		
男子 70 歳以上	松田 謙一	(与野 TC)	
	横山 和年		

ねんりんピック今後の予定は、来年（愛媛）、再来年（鳥取）そして、25年は2回中止の（岐阜）と計画されており、皆様方もどんどんねんりんピックにチャレンジしてください。
選手団引率:小林一幸